

コミュニケーションロボット「Kebbi(ケビー)」を用いたプログラミング教育の授業実践に向けて【長久手市立北中学校】

長久手市では、コミュニケーションロボット「Kebbi Air」(以下「Kebbi(ケビー)」)を用いたプログラミング教育の授業実践を始めようとしている。

<Kebbi とは?>

- 人工知能を搭載したコミュニケーションロボット。英語教育、チャット、コミュニケーション等の機能を、顔と一体化したディスプレイ、駆動によるボディランゲージにより行う。
- 500人の名前と顔を記録でき、200台同時管理が可能。Google Blockly(グーグル・ブロックリー)を使ったプログラミング実験室が体験でき、サーマルカメラによる表面温度チェックソリューションもある。



【コミュニケーションロボット「Kebbi Air」】



【事業者による通信接続の確認及び調整】

実践前、Kebbiを動作させるための通信接続に課題が生じたため、長久手市立北中学校において、Kebbi 協力事業者のシンフォニア・プロパティーマネジメント株式会社の職員と長久手市の通信委託業者に来校していただき、原因の解消に向けての支援を受けた。



タブレットを用いてプログラム通り Kebbi が動きました。



Kebbi を授業でどのように活用できるかを検討しています。

通信接続の課題が解消されたため、タブレット端末から Kebbi への通信接続が可能となり、作成したプログラム通りに Kebbi を動作させることができたので、今後は、更に検討を重ねて、授業でどのように活用していくかの研究を進めていきたいと考えている。